

神樹の会会報

No. 8

本部事務所：神戸市灘区備後町3丁目2番22号

昭和60年12月10日

六甲作業所内 TEL(078)821-1533

(事業所)

六甲作業所及び東部生活訓練所
〒657 神戸市灘区備後町3丁目2番22号 ☎821-1533

垂水作業所及び西部生活訓練所
〒655 神戸市垂水区星陵台4丁目4番45号 ☎782-9675

福祉の店“いたやど”
〒654 神戸市須磨区大黒町2丁目2-12 ☎733-2477

第14回 神樹の会バザー成功裡に終わる

定着したさんちかホール 秋の催し

嬉しかったのは平素両校がお世話になつてい
ボランティアの方々や
養護学校の旧職員の方
が自発的に参加されたり
激励をして下さったこと
であつた。それにし
もこれだけ大掛かりのバ
ザーを開くことが出来る
のも神樹の会会員の平素
の御苦労に対する思いや
りや両校の先生方、PT
A等の横の連絡による呼
びかけに、快く応じて下
さつた幼小中高並びに市
民各位の協力などご支
援があればこそ成立するこ
とが出来たものである。
改めて貴重な品々をご寄

熱気に包まれたバザー会場
恒例の神樹の会の福祉バザーは、
例年の通り三宮地下街株式会社
ご好意により十一月十一・十二の
両日、社会福祉法人神戸明輪会の
収容授産施設の建設をひかえて一
段と熱気を帯びて挙行された。
本年もまた搬入日が日曜日にな
つたにもかかわらず、友生・垂
水両養護学校の先生方も大挙応援
に駆け付けて下さり、トラック七
台分の協力品が次々と会場に運び
込まれた。
バザー当日は両校並びにOBの
お母さん方は白いエプロン姿もり
りしく予め定められた部署につ
いて、終日来客の応接・販売にあた
られたが殺到する来客に戸惑いも
多くみられた。

ご協力をいただいたみなさま

1. 幼稚園の部 (各校園共PTA又は保護者会)
深江。本庄。本山。魚崎。遊喜。呉田。住吉。御影。西郷。稗田。
あづま。二宮。神戸。清風。くすのは。楠。兵庫。御崎。有馬。
からと。大池。桜の宮。小部。君影。藍那。道場。好徳。淡河。
西野。重池。ひばり。若宮。しらかわ。東落合。竜が台。すがの
台。泉が丘。東高丸。上高丸。垂水。多聞台。奥の池。多聞南。
小束山。長坂。押部谷。玉津一。岩岡。
2. 小学校の部
本庄。魚崎。本山二。本山三。住吉。渦が森。御影北。成徳。鶴
甲。稗田。美野丘。摩耶。福住。上筒井。若菜。神戸。東川崎。
湊川多聞。平野。大開。箕谷。広陵。小部東。小部。泉台。鈴蘭
台。北五葉。君影。ひよどり台。道場。長田。真野。志里池。千
歳。大黒。若宮。西須磨。横尾。白川。松尾。東落合。花谷。下
畑台。乙木。塩屋。東垂水。高丸。上高丸。千代が丘。垂水。霞
が丘。東舞子。舞子。西舞子。多聞南。小束山。多聞台。神陵
台。伊川谷。桜が丘。玉津一。
3. 中学校の部
魚崎。本庄。住吉。御影。原田。長峰。上野。港島。湊。兵庫。
吉田。桜の宮。ひよどり台。雲雀丘。丸山。西代。高取台。鷹取。
高倉。東落合。白川台。西落合。竜が台。桃山台。塩屋。垂水東。
福田。多聞東。舞子。神陵台。玉津。神出。
4. 高校の部
赤塚山。葺合。須磨。須磨ノ浦女子。
5. 主な会社・個人 (敬称略、順序不同)
KK親和福祉会。兵庫県遊技協同組合。KK兵栄。清成外科。谷
外科。風月堂。清風公民館。中尾内科。日下部会。協栄運輸KK。
サンドウィッチツウユー。マルゼン。労力銀行(ボランティア)。
神戸糧穀KK。恵林寺。三恵ライトKK。カネミツ産業KK。大
阪三洋KK。高田医院。佐志医院。伊藤医院。有限会社小河商店。
豊岡商店KK。UCC上島コーヒーKK。但馬銀行甲南支店。山
田地区自治会。六光石油高丸インター給油所。協力自動車。マリ
ンシューズ。神陵台文化センター。吉田歯科。六島歯科。延命地
蔵供養者一同。パイオニアクラブ(須磨ノ浦女子)。守内歯科。文
具マコト。岸本資代グループ。シューズヤスモト。石川医院。明
芳外科。あんずの会。垂水舞子地区民生児童委員協議会。セラ工
業。村田医院。明瀬医院。田中歯科。天の下市場。安積眼科。久
岡医院。ショップタケウチ。スタープラスチック工業KK。河本
医院。美本産婦人科。新多聞地区民協。原田酒店。藤原医院。東
洋証券神戸支店。中沢福太郎。河野申之。粕田 利。徳岡 勝。
向井 章。吉田三知子。本多博明。本岡昭次。青木桂一郎。足立
道三。前村耕子。角南猛夫。朝日多光。住江 愛。金井元彦。森
本泰好。(その他多くの会社・個人の方々に感謝致します)



熱気溢れる会場 (写真提供神戸新聞社)

贈賜わつた多くの方々、その連絡、収集にご苦勞頂い
た方々に厚く厚く御礼申し上げたい。
ここに謹んで第十四回バザーの決算を報告させてい
ただくと共にご協力を賜わつた各種団体及び主な協力
者のご尊名を連記させていただいて感謝の意を表わし
たい。(但し神樹の会の賛助会員並びに正会員分は省
略させていただきます。)

第14回 バザー収支決算

収入の部		支出の部	
会場売金	5,930,135	会場設営費	261,150
会場募金	4,159	通信費	102,600
寄付金	1,363,161	事務費	46,419
		文書印刷費	87,450
		手芸材料費	77,736
		値札及梱包費	149,100
		雑費	374,509
計	7,297,455	計	1,098,964

差引収益 6,198,491 円

友生・垂水 両校

創立三十周年記念式を挙行

友生養護学校

創立三十周年を祝う

創立三十周年を迎えた友生養護学校は十一月二、三日の両日にわたり盛大な記念行事が催された。

式典は二日午前十時に挙行されたが市教委より林教育委員、指導部長ら多数の関係者、牧野・池田・長谷川前校長、全市幼小・中・高の各代表校長をはじめ多数の来賓の参列があった。

学校長より友生三十年の歴史についての説明があり、創設についてご努力された故木戸教育委員長、故佐藤宏先生のご功績などと共に本校創設に協力賜った地元、住吉小学校をはじめ地域の方々への丁寧な謝辞が述べられた。

年と共に重度重複化する児童生徒を迎えて、全市の先導的立場で研究と実践を積まれた友生の教育の実践の発表があり、参列者に今更のように友生三十年の教育の重みと感動を与えられた。

引続き教育委員の式辞、牧野元校長、大橋PTA会長、野木同窓会会長(代理)のよろこびのことばが続ぎ、生徒たちにより作詞された三十周年祝歌が発表された。その後、自立をめざす現在の友生の子供達の姿をとらえた8ミリ映画が上映された。

二階は展示会場になっていて、三十年の歩みを示す資料をはじめ児童生徒たちの力作が展示されるなど見学者が絶えなかった。又、三十周年記念誌・記念文集・研究誌などが刊行され、三十年の歴史を感じさせる

垂水養護学校

創立十周年を祝う

宮脇 テル子

記念事業であった。三日には記念文化祭が華やかに開かれ、子供たちも家族ぐるみの参加で楽しく、力一杯日ごろの学習活動を発表した。



写真は記念式典での会長あいさつ

去る十一月二十三日、垂水養護学校では創立十周年を記念し、文化祭とそれに先駆けて、記念式典が行われました。市教委の先生方をはじめ、歴代校長先生や交流校の校長先生など多くのご来賓の方々のご臨席を賜わり、十年目というひとつのふし目を、ささやかではありましたが共に祝う時をもちました。



写真は文化祭での母親コーラス

伝統ある友生養護学校から分かれ、学校とともに歩んでまいりました私たちPTAも、多くの先生方や先輩方に教えられ、励まされて現在のPTAへと育つてくることが出来ました。

そして今や神樹の会の四本柱の1本として、大きくたくましく、なくてはならない柱へと成長しつつあります。これも地域の皆さまの陰からのご協力のおかげとそのご好意に心よりお礼申し上げます。又、神樹の会の事業や運営、そして授産施設の建設が出来ますのも、神戸市の幼小中高のPTAの皆さま方の限りなく暖かいお心でもって支えられていることを思い会員一同深く感謝申し上げます。

・第二十一回準備委員会より、新メンバーで協議した。(社会福祉法人明輪会役員予定者) 牧野一夫(神樹の会会長) 百道孝(父母の会会長) 木下吉治郎(会社社長) 坂田政泰(大学教授) 中西信市(自営業) 中村温(市民福祉振興会理事) 松川善弥(医師) 宮脇富治雄(会社社長) 泉伸一(税理士) 清水正夫(前校長)

議題 一、社会福祉法人明輪会の設立
二、重度身体障害者授産施設建設
三、日自振興会補助交付要望事項
・第二十二回準備委員会 新旧合同会議
議題 一、整備公社で作成された施設設計図について検討

本年中に施設設計完成見込です。又、福祉法人申請書類並びに共同募金会経由の補助申請書類については提出致しました。

開設に向けて着実な歩み

社会福祉法人 明輪会設立準備委員会

本年もいよいよ押しつまり準備委員会も施設設計検討の時期に入りました。会員のみなさまに簡単ではありますが、施設建設の準備状況を報告します。

・第一回より第二十回準備委員会までに検討処理事項は以下の通りです。

重度授産施設の見学、資金・授産の概要、建設計画、入所者希望調査、趣意書作成、設計案作成、収容者数、補助要望書作成、定款案、法人名称の決定、施設名、借入金返済計画、法人役員の立案、法人設立仮申請、補助申請、市民生局との折衝など。